[Jpn. J. Hosp. Pharm.
資料
21(3) 215 - 230 (1995)]

添付文書情報のデータベース化 (第1報)

院内医薬品集編集作成

寺町ひとみ*, 加藤文香, 森 信一
厚生連総合病院中濃病院薬剤科†

Construction of Drug Information Database (No.1) Edition of Hospital Formulary

HITOMI TERAMACHI*, FUMIKA KATO and NOBUKAZU MORI
Department of Pharmacy, Kouseiren Chuu-nou Hospital†

(Received November 29, 1994)
(Accepted January 30, 1995)

We have constructed a Drug Information Database by using a method that employs the commercial application software called "KIRI", and have constructed hospital formulary system. As compared with our last publication, we could easily edit and timely print hospital formulary. Consequently, the work necessary to writing the manuscript could be considerably reduced.

Constructing the Drug Information Database, enables us to make use the drug information for a variety of other purposes.

Keywords—drug information database, the commercial application software, hospital formulary system, drug information for a variety of other purposes

はじめに

近年, 多くの薬剤業務の中でも, 特に DI 業務が重要視されてきている。DI 活動のひとつとして, 院内医薬品集の必要性が高まり, 医師・看護婦等のスタッフから要望が多いのが現状である。

一方, 600 点業務実施にあたって, 申請時の必要項目としても含まれている。しかし, 特に中小病院では, その作成・編集・出版に至るまでには, マンパワー・費用等多くの問題がある。今回, 添付文書等情報のデータベース化を行い簡単かつタイムリーに編集・発行することが容易となったので報告する。

方法

1. 使用機器・ソフト

コンピューター: NEC PC-9801 NS/E, ハードディスク 40MB 内蔵

拡張メモリ: EMS 4MB

プリンター: Canon Laser Shot LBP-A404 G II

桐バージョン V4, 一太郎 バージョン V4.3

2. 医薬品集作成システムの概要

医薬品集の形式には2つの種類がある。枠組み形式^{1,2)}は, 薬品ごとに枠をとり, その枠内に必要事項を記載するため内容が読みやすいが, 余白が多くなり限られた紙面の中では収載できる情報に制限がある。一方, 文書形式は, より多くの情報を記載することができるが, 読みづらいという

† 岐阜県関市緑町 2-4-23; 2-4-23, Midorimachi, Sekicity, Gifu, 501-32 Japan

TYUNOU. TBL

○印が医薬品集掲載項目

表定義

項目名
院内コード
○薬効分類
○一般名
○商品名
○メーカー
○規制区分
○略称
○組成
○用法用量
○院内薬効特徴
○効能効果
○副作用
仮名・一般名
仮名・商品名
採用日付
サンプル
中止日付
貯法

項目名
ATC
識別
剤形
抗生剤・輸液
掲載Y/N
コード No.
複写データ
商品名か
一般名か
連番
ブドウ球菌属
黄色ブドウ球菌
連鎖球菌属
肺炎球菌
腸球菌
淋菌
髄膜炎菌
ブドウ球菌属
大腸菌

項目名
シロバクテラ属
サルモネラ
シガラ属・赤痢菌
クレブシエラ属
エンテロバクテラ属
セリチア属
プロテウス属
他のシュードモナス属
インフルエンザ菌
アシネバクテラ属
緑膿菌
バクテロイデス属
バクトリックス属
バクトリクス・トコラス属
マイコプラズマ
結核菌
スピロヘータ・トレボネマ
リケッチア
クラミジア属

項目名
クラミジア属
カンジダ
糸状菌
原虫
注意
イソロイシン
ロイシン
リジン
メチオニン
フェニルアラニン
トレオニン
トリプトファン
バリン
アルギニン
アミノ酢酸
ヒスチジン
アスパラギン酸
グルタミン酸
アラニン

項目名

シスチン
プロリン
セリン
チロジン
ブドウ糖
キシリトール
総遊離アミノ酸濃度
総窒素
Naイオン
Clイオン
Kイオン
Mgイオン
リン酸イオン
乳酸イオン
Caイオン
酢酸イオン
マルトース
ソルビトール

項目名

熱量カロリー
硫酸イオン
Zn
P
グルコンサンイオン

ALL. TBL

表定義

項目名

院内コード
薬効分類
商品名
一般名
メーカー
組成
相互作用
妊産婦
小児
その他
警告
禁忌
慎重投与
仮名 (一般名)
仮名 (商品名)
剤形
掲載Y/N
複写データ
コード No.

ステロイド. TBL

表定義

項目名

院内コード
薬効分類
商品名
一般名
メーカー
組成
分類
適応症
投与方法
仮名 (一般名)
仮名 (商品名)
剤形
掲載Y/N

図 1. 添付文書データファイルの項目

欠点がある。

当院において医薬品集を作成するに当たっては、内容が読みやすい従来からの形式が良いという意見が多かったため、枠組み形式を採用することにした。そこで、限られた紙面に、より多くの情報が収載できるように、編集方法の点で工夫をした。

- 1) 形式：枠組み形式，A 5 判
- 2) 構成ファイル

従来のワープロ専用機による院内採用医薬品のデータをテキストファイルにおとし，その他追加項目を入力し，TYUNOU. TBL と All. TBL とステロイド. TBL の 3 つのファイルを作成した。

「桐」ver. 4 では一件の最大文字数が 1000 バイトのため情報量に限界が生じる。しかし，添付文書のデータベースとして医薬品集以外にも多方面での利用を考慮したため，3 つのファイルに分けて添付文書の内容を入力した。図 1 は，TYUNOU. TBL と All. TBL とステロイド. TBL の 3 つのファイルの項目である。なお，TYUNOU. TBL の ○印の項目が医薬品集掲載項目である。

また，当院では「日本医薬品集」（日本医療情報センター編，薬業時報社発行）の最新版が院内各科詰所に置いてあることから，院内医薬品集に期待される情報は，すべての詳細な情報ではなく，a) 院内採用薬品名，b) 効能・効果，c) 用法，用量，d) あれば副作用という意見が多かったことから，収載項目を図のように決めた。

3) 編集方法

＜同一薬品の場合＞図 2 のように，各々の医薬品は，院内コード 6 桁（すでに薬品管理で使用しており，岐阜県厚生連共通コード）を使用しており，同一薬品でも，規格・剤型が異なることで，別個のデータとして取り扱っている。そこで，医薬品集を作成する場合，ページ数が多くなることから，TYUNOU. TBL の「複写」の項目を利用して，編集時にこのマークの薬品のどちらか一方の薬品の該当部分，例えば「効能・効果」「用法，用量」「副作用」を削除することにした。

＜輸液剤の場合＞輸液剤では，TYUNOU.

TBL の「組成」の項目の情報量が多いため，スペースを多く取ることから，輸液の成分の項目を作り一覧表の作成を可能にした。（表 1）

また，一括処理により，画面にて各々薬品の輸液成分表を検索しプリントできるようにした（図 3）。

＜抗菌剤の場合＞抗菌剤では，適応菌種の情報量が多いため，TYUNOU. TBL に適応菌種の項目を追加し，一覧表の作成を可能にした（表 2）。

また，一括処理により，画面にて各々薬品の適応菌種表を検索しプリントできるようにした（図 4）。

抗菌剤の効能効果の情報量も多いことから，TYUNOU. TBL より，「適応症ナ. TBL」「適応症チ. TBL」のファイルを作り，一覧表にてプリントアウトできるようにし，また医薬品集を作成するときに，TYUNOU. TBL の効能効果のデータを削除することで完成時のページ数を減らすようにした（表 3）。

＜ステロイド剤の場合＞一方，ステロイドの効能・効果は，データ量が多いため，TYUNOU. TBL にすべての情報量を入力することができないため，別個のファイルとして，「ステロイド. TBL」として管理している。このファイルより一覧表をプリントできるようにした（表 4）。

＜医薬品集作成方法＞

TYUNOU. TBL を「医薬品集作成システム」にて，医薬品集収載薬品を「収載」項目の「Y」のみ選択できるようにし，必要項目のみをテキストファイルとして 96 文字 50 行のページ付きで書き出し，これを一太郎にてプリントアウトできるようにした。薬品は 4 桁の薬効分類番号を使用し，薬効分類順に並べた。薬品名は，一般名を中心とし縦に列挙し，同一成分の薬品は，各々医薬品で一般名の次に商品名が順番にプリントできるようにした（図 5）。

また，索引は「医薬品集作成システム」終了後「索引作成システム」で，名称. TXT，薬効. TXT を作成できるようにした。名称. TXT は，商品名と一般名の五十音順索引で，一太郎で 80 文字 50

表形式編集 : 表示 : 表:A:TYUNOU 索引:薬効、仮名

連番	院内コード	薬効	一般名	商品名	メーカー
	139305	1124	シアセバム	セルシン100倍散	武田
	139306	1124	シアセバム	セルシン錠	武田
	339308	1124	シアセバム	セルシン注射液10mg	武田
	339307	1124	シアセバム	セルシン注射液5mg	武田
	169327	1124	シアセバム	ホリゾン錠	山之内
	129916	1124	トフィソバム	グラタンキシン錠	持田
	169300	1124	トリアソラム	ハルシオン錠	アップジョン
	169323	1124	ニトラセバム	ベンザリン細粒	塩野義

規制区分	略称	組成	用法用量	院内薬効
回指要指	D2P	散:1% 10mg/g	1回2~5mg 1日2~4回。	
回指要指	D2P	錠:2mg	セルシン100倍散と同	
回指要指	D2P	注:2ml, 10mg	初回2ml (10mg) 静・筋注	
回指要指	D2P	注:1ml, 5mg	セルシン注10mgと同じ	
回指要指	D2P	錠:5mg	1回2~5mg 1日2~4回。	
回指要指		錠:50mg	1回50mg 1日3回。	
回指要指		錠:0.25mg	不眠症:1回0.25mg就寝時	睡眠剤
回指要指	N2P	細粒:1% 10mg/g	不眠症:1回5~10mg就寝時	睡眠剤

→ 整列

表形式編集 : 表示 : 表:A:TYUNOU 索引:薬効、仮名

連番	効能効果	副作用	仮名・一般名
	神経症における不安	薬物依存、精神障害者	シアセム
	セルシン100倍散と同	セルシン100倍散と同	シアセム
	麻酔前・麻酔導入時・麻	薬物依存、精神分裂病	シアセム
	セルシン注10mgと同じ	セルシン注10mgと同じ	シアセム
	神経症における不安	薬物依存、精神障害者	シアセム
	自律神経失調症・鎮・鎮	薬物依存、眠気、めまい	トフィソム
	不眠症、麻酔前投薬	薬物依存、健忘、めまい	トリアソラム
	不眠症、麻酔前投薬、其	薬物依存、精神分裂病	ニトラセム

仮名・商品名	採用日付	サンプル	中止日付	貯法	A
セルシン100H散	930101			室温	N
セルシタマ	930101			室温	Y
セルシタマI+10MG	930101			室温	N
セルシタマI+5MG	930101			室温	Y
ホリソタマ	930101			室温	Y
グラタンキタマ	930101			室温	Y
ハルシオンタマ	930101			室温	Y
ベンザリンタマ	930101			室温	N

→ 整列

表形式編集 : 表示 : 表:A:TYUNOU 索引:薬効、仮名

連番	A	識別	剤形	抗生剤・輸注	レコトNo.	複写	商品名
	N	30	内用		Y	0384600	F1 シアセハム
	Y	*1102 30 3ミ/30	内用		Y	0384700	F2 シアセハム
	N	タオウショウキドチヨ	注射		Y	0991100	F1 シアセハム
	N	タオウショウキドチヨ	注射		Y	0991100	F2 シアセハム
	Y	*511 30	内用		Y	1934700	F3 シアセハム
	Y	M0110 ビオハクシヨ	内用		Y	2040700	トフィソハム
	Y	UPJOHN17 タンセシ	内用		Y	1704900	トリアソラム
	N	30	内用		Y	0694500	F1 ニトラセハム

→ 整列

図 2. 同一薬品の場合の画面表示例

表 1. 輸液剤成分一覧表の一例

ア ミ ノ 酸 輸 液 一 覧 表

商品名	一般名	高加リ・輸液用 糖・電解質・ アミノ酸1	高加リ・輸液用 糖・電解質・ アミノ酸2	高加リ・輸液用 糖・電解質・ アミノ酸3	肝性脳症改善 アミノ酸	腎不全用必須 アミノ酸	アミカリック 電解質液	キリトール加リ 酸注射液	キリトール加リ 酸注射液	キリトール加リ 酸注射液	キリトール加リ 酸注射液
メーカ		森下 注: I 層: 800mg II 層: 200mg	森下 注: I 層: 800mg II 層: 300mg	森下 注: I 層: 800mg II 層: 400mg	大塚 注: 500mg	森下 注: 200mg	田辺 注: 500mg	テルモ 注: 200mg	大塚 注: 500mg	大塚 注: 500mg	大塚 注: 500mg
組成											
イソロイシン mg/mL		560	560	560	900	720	234	597	180	180	180
ロイシン mg/mL		1250	1250	1250	1100	1125	371	1138	410	410	410
ロジン mg/mL		880	880	880	610	819	220	784	496	496	500
メチオニン mg/mL		350	350	350	100	1125	135	433	240	240	240
フェニルアラニン mg/mL		935	935	935	100	1125	212	974	290	290	290
トレオニン mg/mL		650	650	650	450	515	132	504	180	180	180
トリプトファン mg/mL		130	130	130	70	255	44	187	60	60	600
バリン mg/mL		450	450	450	840	820	247	690	200	200	200
アルギニン mg/mL		790	790	790	600	0	305	1230	223	223	220
アミノ酢酸 mg/mL		1070	1070	1070	900	0	151	1568	340	340	340
ヒスチジン mg/mL		600	600	600	240	560	129	571	105	105	100
アスパラギン酸 mg/mL		380	380	380	0	0	14	202	0	0	0
グルタミン酸 mg/mL		650	650	650	0	0	0	102	0	0	0
アラニン mg/mL		620	620	620	750	0	237	821	0	0	0
シスチン mg/mL		100	100	100	30	0	0	23	0	0	0
プロリン mg/mL		330	330	330	800	0	190	1063	0	0	0
セリン mg/mL		220	220	220	500	0	115	467	0	0	0
チロシン mg/mL		35	35	35	0	0	14	57	0	0	0
ブドウ糖 %		12	16.36	20.87	0	0	7.5	0	0	0	7.5
キシトール %		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総遊離アミノ酸濃度 %		10.36	10.36	10.36	7.99	7.064	2.75	11.362	2.72	2.72	2.72
総窒素 mg/mL		304	415	507	1220	900	428	1815	418	418	418
Naイオン mEq/L		51 mEq/袋	51 mEq/袋	52 mEq/袋	14	13	30	150	6	6	34
Clイオン mEq/L		50 mEq/袋	50 mEq/袋	50 mEq/袋	94	0	50	150	52	52	34
Kイオン mEq/L		30 mEq/袋	30 mEq/袋	30 mEq/袋	0	0	25	0	0	0	0
Mgイオン mEq/L		6 mEq/袋	6 mEq/袋	6 mEq/袋	0	0	3	0	0	0	0
リン酸イオン mEq/L		0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
乳酸イオン mEq/L		0	0	0	0	0	40	0	0	0	0
Caイオン mEq/L		8 mEq/袋	8 mEq/袋	8 mEq/袋	0	0	0	0	0	0	0
酢酸イオン mEq/L		34 mEq/袋	40 mEq/袋	46 mEq/袋	0	36	0	0	0	0	0
硫酸イオン mEq/L		6 mEq/袋	6 mEq/袋	6 mEq/袋	0	0	0	0	0	0	0
グルコンサンイオン mEq/L		8 mEq/袋	8 mEq/袋	8 mEq/袋	0	0	0	0	0	0	0
Zn μmol/袋		20	20	20	0	0	0	0	0	0	0
P mmol/袋		8	8	8	0	0	0	0	0	0	0
熱量カロリー Kcal/L		560 Kcal/袋	840 Kcal/袋	1160 Kcal/袋	334	296	300	476	114	114	409

《 アミノ酸輸液 》 その1

商品名: テルアミノ-12		組成: 注:200ml(L-イロイ)		メーカー: テルモ	
イソロイシン	597 mg/100ml	プロリン	1063 mg/100ml		
ロイシン	1138 mg/100ml	セリン	467 mg/100ml		
リジン	784 mg/100ml	チロジン	57 mg/100ml		
メチオニン	433 mg/100ml	ブドウ糖	0 W/V%		
フェニルアラニン	974 mg/100ml	キシリトール	5.0 W/V%		
トレオニン	504 mg/100ml	総遊離アミノ酸濃度	11.362 W/V%		
トリプトファン	187 mg/100ml	総窒素	1815 mg/100ml		
バリン	690 mg/100ml	Naイオン	150 mEq/L		
アルギニン	1230 mg/100ml	Clイオン	150 mEq/L		
アミノ酢酸	1568 mg/100ml	Kイオン	0 mEq/L		
ヒスチジン	571 mg/100ml	Mgイオン	0 mEq/L		
アスパラギン酸	202 mg/100ml	リン酸イオン	0 mEq/L		
グルタミン酸	102 mg/100ml	乳酸イオン	0 mEq/L		
アラニン	821 mg/100ml	酢酸イオン	mEq/L		
シスチン	23 mg/100ml	熱量カロリー	476 Kcal/L		

《 糖質・電解質輸液 》 その2

商品名: アクチット注		組成: 注:500ml(マルト-ス25)		メーカー: 日研	
Naイオン	45 mEq/L	ブドウ糖等	0 W/V%		
Kイオン	17 mEq/L	マルトース	5 W/V%		
Mgイオン	5 mEq/L	ソルビトール	0 W/V%		
Caイオン	0 mEq/L	熱量カロリー	200Kcal/L		
Clイオン	37 mEq/L				
リン酸イオン	10 mEq/L				
乳酸イオン	0 mEq/L				
酢酸イオン	20 mEq/L				

《 高カロリー輸液 》 その3

商品名: ハイカリック液1		組成: 注:700ml(ブドウ糖)		メーカー: テルモ	
Naイオン	0 mEq/1袋	リン酸イオン	0 mEq/1袋		
Kイオン	30 mEq/1袋	Zn	10 μ mol/1袋		
Mgイオン	10 mEq/1袋	P	150 mg/1袋		
Caイオン	8.5 mEq/1袋	ブドウ糖等	17.1		
Clイオン	0 mEq/1袋				
硫酸イオン	10 mEq/1袋				
酢酸イオン	25 mEq/1袋	熱量カロリー	480(686Kcal/L)		
ケルコンサリオン	8.5 mEq/1袋				
					Kcal/1袋

図 3. 輸液成分の検索画面表示例

表 2. 適応菌種一覧表の一例

[illegible]

《 抗生物質 》

商品名:オゼックス錠
メーカー:富山

組成:錠:150mg
分類:ニューキノロン系

薬効:6241 剤形:内用 略称:TFLX

グラム陽性菌	球菌	ブドウ球菌属 ●	陰性菌	桿菌	プロテウス属 ●	真菌	カンジダ
		黄色ブドウ球菌 ●			陽性(P), 陰性(N) PN g ●		糸状菌
		連鎖球菌属 ●			他のシュートモナス属 ●		原虫
グラム陰性菌		肺炎球菌 ●	性菌		インフルエンザ菌 ●	注	
		腸球菌 ●			アシネバクター属 ●		g:モルガニ、レックグレイ、k: :チフス、ハチフス菌を除く、*:キサントモナス・マルトリアリ、フロビオニバクテリウム・アケネス
		淋菌 ●			緑膿菌 ●		
		髄膜炎菌 ●	嫌気性		ハクテロイデス属 ●	意	● 厚生省 適応菌
		ブランハメラ属 ●			ハプトコッカス属 ●		
		大腸菌 ●			ハプトストレプトコッカス属 ●		
		シロバクター属 ●	桿菌		マイコプラズマ ●		
		サルモネラ ● k			結核菌 ●		
		シガ属・赤痢菌 ●			スピロヘータ・トレボネマ ●		
		クレブシエラ属 ●			リケッチャ ●		
	エンテロバクター属 ●		クラミジア属 ●				
	セラチア属 ●						

図 4. 抗生剤適応菌種の検索画面表示例

行にてプリントアウトした。薬効、TXT は薬効分類による索引で、一太郎で96文字×50行にてプリントアウトした。

追補版の作成方法は「サンプル月日（試用認可薬品の試用認可月日）」と「収載」項目の「Y」の項目を利用し、「追補版作成システム」にて、試用認可薬品の試用認可月日以降に採用された薬品と試用認可薬品が選択され、「医薬品集作成システム」と同様にしてファイルを作成した。索引も同様にしてファイルを作成した。

毎月の薬事委員会で決定した、採用認可薬品・試用認可薬品を医薬品集追加として、同様の方法にてプリントアウトし、各科・各舘所・各医師等に配付している。

4) 新規認可薬品データの入力

新規認可薬品の追加入力は、全国医薬品情報ネットワーク「SUNET」を使って検索した添付文書情報を取り込み、加工し、「桐」の「TYUN-OU. TBL」「ALL. TBL」にそれぞれ取り込み、データの入力による手間を省くことができた(図6)。

結果と考察

今回のテーマとして、①マンパワーをクリアーして、簡単に編集ができること、②コストを安く

する、③1～2年に1度発行できるようにする、④追補版も可能とする、⑤添付文書のデータベースを多方面に利用できるようにする、⑥追加薬品の入力の時間を短縮する・・・等々を満足できるデータベースの構築とシステムを完成することができた。

以上のように、一太郎でプリントされた本文ファイル・索引ファイル・各種表が印刷の版下となり、印刷業者に渡し2週間ほどで完成することができる。

今回作成した医薬品集の構成は、サイズA5判、医薬品数1244件、本文ページ数287、索引ページ数24、表ページ数32となった。見やすいということで、従来からの枠組み形式では情報量の問題とページ数が多くなることから、編集に工夫をし、多くの表を利用することで、この欠点をクリアーすることができた。

従来のワープロによる編集では、版下を作成するのに1カ月ほどの時間を費やしたが、今回のシステムでは、本文テキスト・索引テキストを2時間30分ほどで作成することができた。医薬品集編集で、多くの時間を費やす「ページ付け」「索引」も従来の方法と比較すると、短時間に自動的に作成できるようになった。

印刷は、コストを安くするために、従来のよう

BIO適応7.TBL

[illegible]

BIO適応性.TBL

[illegible]

表 4. ステロイド和効能・効果一覧表の一例
ステロイド効能効果一覧表

分類	適応症	投与方法	備考
内科・小児科領域	慢性副腎皮質機能不全(原発性、続発性、下垂体性、医原性)	筋	リンデロン注 40g
	急性副腎皮質機能不全(副腎切除)	静.点.筋	リンデロン注 40g
	副腎性器症候群	※筋	リンデロン注 40g
	亜急性性甲状腺炎	静.点.※筋	リンデロン注 40g
	甲状腺中毒症	静.点.※筋	リンデロン注 40g
	甲状腺癌に付く悪性腫瘍増殖症	※筋	リンデロン注 40g
	ACR腫瘍増殖症	筋	リンデロン注 40g
	下垂体前葉腫瘍	筋	リンデロン注 40g
	慢性関節リウマチ	筋	リンデロン注 40g
	若年性関節リウマチ(炎症を含む)	筋	リンデロン注 40g
	卵巣熱(卵巣性心炎を含む)	※静.※点.筋	リンデロン注 40g
	卵巣性多発性腫瘍	筋	リンデロン注 40g
	リウマチ(全身性及び慢性関節炎)	※静.※点.筋	リンデロン注 40g
	全身性血管炎(大動脈炎、結節性動脈周囲炎、多発性動脈炎、リウマチ性動脈炎を含む)	※静.※点.筋	リンデロン注 40g
	多発性動脈炎(皮膚病変を含む)	※静.※点.筋	リンデロン注 40g
	強皮症	※筋	リンデロン注 40g
	リウマチ及びリウマチ症候群	※静.※点.※筋	リンデロン注 40g
	うつ血性心不全	※静.※点.※筋	リンデロン注 40g
	気管支喘息	静.点.※筋, プライズ-	リンデロン注 40g
	薬剤その他の化学物質によるアレルギー-中毒(薬疹、中毒疹を含む)	※静.※点.※筋	リンデロン注 40g
	血清病	静.点.※筋	リンデロン注 40g
	喘息性気管支炎	※筋, プライズ-	リンデロン注 40g
	喘息発作重症状態	静.点	リンデロン注 40g
	アレルギー性鼻炎	静.点	リンデロン注 40g
	重症感染症	静.点.※筋	リンデロン注 40g
	溶血性貧血(免疫性又は免疫性機序の疑われるもの)	静.点.※筋	リンデロン注 40g
	白血病(急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性骨髄性白血病)(皮膚白血病を含む)	静.点.※筋	リンデロン注 40g
	顆粒球減少症(本態性、続発性)	静.点.※筋	リンデロン注 40g
	紫斑病(血小板減少性及び血小板非減少性)	静.点.※筋	リンデロン注 40g
	再生不良性貧血	静.点.※筋	リンデロン注 40g

薬 剤 名	剤型・容量	用 法 用 量	備 考
100 神経系及び感覚器官用医薬品 110 中枢神経系用薬 111 全身麻酔剤 1112 ハロゲン炭化水素製剤			
ハロタン フローセン (武田) 劇 指	液:250ml	①導入:1.5~2.0%を含む酸素又は酸素・亜酸化窒素(笑気)混合ガスを吸入。②維持:0.5~1.5%。	[適] 全身麻酔 [副] 発熱を伴う重篤な肝障害, 交叉過敏症, 低血圧, 不整脈, 呼吸停止, 脳脊髄液圧上昇, 悪心, 嘔吐, 悪寒, 原因不明の頻脈・不整脈・血圧変動, 急激な体温上昇, 筋強直, フローゼ, 過呼吸, ソーグライムの異常過熱・急激な変色, 発汗, アトニーシス, 高K血症, ミカトネン尿を伴う重篤な悪性高熱, 腎不全, 血尿
1114 エーテル系製剤			
エーテル エーテル (局方) 指	液:500ml	①開放ないし半開放点滴法の場合は滴下②導入:10~50%を含む酸素又は酸素・亜酸化窒素混合ガスを吸入③維持:2~6%の濃度で維持する	[適] 全身麻酔 [副] ①麻酔中:気道を刺激し分泌増加血糖値上昇②覚醒時:悪心, 嘔吐
イソフルラン フォーレン (ダイナボット) 劇 指	液:250ml	①導入:(7)睡眠量の静脈麻酔薬を投与し, イソフルランと酸素もしくは酸素・亜酸化窒素混合ガスとで導入。(4)イソフルランと酸素もしくは酸素・亜酸化窒素混合ガスで導入(7)最初0.5%から始めて徐々に濃度を上げ, 手術に必要な濃度にする。通常, 4.0%以下の濃度で導入可。②維持:臨床徴候を観察しながら, 酸素・亜酸化窒素と併用し, 最小有効濃度で外科的麻酔状態を維持。2.5%以下の濃度で維持可	[性] 吸入麻酔剤 [適] 全身麻酔 [副] 肝機能異常, 麻酔中(呼吸抑制(咳, 喉頭痙攣等), 不整脈, 血圧変動), 覚醒時(悪心・嘔吐, シバリク, 頭痛), 悪性高熱(原因不明の頻脈・不整脈・血圧変動, 急激な体温上昇, 筋強直, 血液の暗赤色化(フローゼ), 過呼吸, ソーグライムの異常過熱・急激な変色, 発汗, アトニーシス, 高カリウム血症, ミカトネン尿(オートリウシス)等を伴う重篤な悪性高熱)の時には投与を中止し, タンソロリナトリウムの静脈内投与・全身冷却・純酸素での過換気・酸塩基平衡の是正をする, 腎不全を続発する

図 5. 医薬品集本文の記載例

にワープロでプリントアウトし、それを版下として写真印刷する方法を採用している。従来は、字体が8ポイントのため、見にくい部分もあったが、今回はレーザープリンターによるプリントのため、高品質の鮮明で綺麗な字体の版下を作成することができ、写真印刷による方法でもかなり見やすくなった。

編集時間の短縮と低コストによる印刷が可能となったので、年に1度の院内医薬品集の発行も可能となった。

また、追加薬品のデータ入力には、「SUNET」

を利用することで、従来のワープロによるシステムと比較すると、より多くの情報を短時間で入力することができた(表5)。

一方、添付文書のデータベースを医薬品集作成以外の多方面、例えば、①薬事委員会資料、②各種検索可能、③各種資料の作成にも利用できるようになった(図7、表6)。

図8は、今回の「添付文書データベース化システム」を図にまとめたものである。添付文書をデータベース化し、安価で手軽なパソコンと、一般に流通しているソフトウェアを利用することで、

(P.230につづく)

[レコード番号]	2572800
[薬効分類]	3999
[規制区分]	劇：指
[商品名]	注射用エフオーワイ500
[一般名]	メシル酸ガベキサート
[会社名]	小野薬品工業
[組成]	1バイアル中 メシル酸ガベキサート500mg
[剤形]	注射：散剤
[識別]	30
[貯法]	室温
[効能効果]	汎発性血管内血液凝固症
[用法用量]	通常成人1日量メシル酸ガベキサートとして20～39mg/kg の範囲内で24時間かけて静脈内に持続投与する。
[一般的注意]	まれにショックがあらわれることがあるので、観察を十分行い、このような症状があらわれた場合には直ちに投与を中止し、適切な処置を行うこと。
[禁忌]	次の患者に投与しないこと メシル酸ガベキサートに対し過敏症の既往歴のある患者
[副作用]	1) ショック：まれにショックがあらわれることがあるので、症状があらわれた場合には直ちに投与を中止すること。 2) 過敏症：ときに発疹、そう痒感、顔面紅潮等があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。 3) 血液：まれに顆粒球減少があらわれることがある。 4) 血管：投与量、投与速度が増加すると、血管内壁を障害し、静脈炎を起こすことがあるので観察を十分に行い、注射部位の血管痛、発赤、炎症等の症状があらわれた場合には減量又は投与を中止すること。 5) 出血傾向：ときに出血傾向の亢進があらわれることがあるので、このような場合には減量又は投与を中止すること。 6) 循環器：ときに血圧降下を来すことがある。 7) その他：ときに悪心があらわれることがある。
[注意-妊産婦等]	妊婦への投与 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には大量投与をさけること。〔大量(100mg/kg/日)投与でマウスに胎仔体重の増加の抑制が認められている。〕

図6. SUNET DB のテキストデータ例

薬審資料 '94 3月

薬 剤 名	剤型・容量	用 法 用 量	備 考
エフオーワイ500と エフオーワイ100との比較			300 代謝性医薬品 390 その他の代謝性医薬品 399 他に分類されない代謝性医薬品 3999 他に分類されないその他の代謝性医薬品
メシル酸ガベキサ ート エフオーワイ5 00 (小野) 劇 指 FOY	注:500mg	1日20~39mg/kgの範囲 内で24時間かけて静脈 内に持続投与	[特] DICでのFOY投与量は1000~2000 mgでFOY(100mg)10~20Vial使用しなく てはならない。FOY500であれば2~4Via 1となり手間はふけるし院内感染予防 にもつながる。 [適] 汎発性血管内血液凝固症 [副] ショック, 発疹, そう痒感, 顔面紅潮, 顆粒球減少, 投与量・投与速度の増加で 静脈炎, 出血傾向の亢進, 血圧降下, 悪 心
メシル酸ガベキサ ート エフオーワイ (小野) 劇 指 FOY	注:100mg	肺炎:1回100mg5%ブドウ 糖注射液又はリザル液 で溶解し8ml/分以下で 点滴静注。初期量1日10 0~300mg症状により同 量追加。汎発性血管内 血液凝固症:1日量20~39 mg/kgを24hrで静脈内 持続投与。点滴速度:2. 5mg/kg/hr以下。	[適] 蛋白分解酵素逸脱を伴う急性脾 炎・慢性再発性肺炎の急性増悪期・術後 の急性肺炎, 汎発性血管内血液凝固症 [副] ショック, 発疹, そう痒感, 顔面紅潮, 顆粒球減少, 投与量・投与速度の増加に より(血管内壁の障害, 静脈炎), 出血傾 向, 血圧降下, 悪心
セルタッチと インサイドパップ・ステイバンとの比較			200 個々の器官系用医薬品 260 外用薬 264 鎮痛, 鎮痒, 収斂, 消炎剤 2649 その他の鎮痛, 鎮痒, 収斂, 消炎剤
フェルビナク セルタッチ (日本レグリー) 指	7-7*:1枚(10×1 4cm:膏体14.0g) 中フェルビナク70mg	1日2回患部に貼付。	[性] 経皮吸収型鎮痛消炎剤 [特] ①無臭性のパップ剤の粘着性が 良く水分含有量が多い③皮膚刺激性が 低い [適] 下記疾患並びに症状の鎮痛・消 炎変形性関節症肩関節周囲炎腱・腱鞘 炎腱周囲炎上腕骨上顆炎(テニス肘等)筋 肉痛外傷後の腫脹・疼痛 [副] そう痒, 発赤, 発疹等の皮膚炎及 び刺激感

図 7. 薬事委員会資料の記載例

《医薬品集の比較》

発行年月日	第1版 1981年	第2版 1989年	第3版 1993年	第4版 1994年予定
形式	枠組み形式 B5版 横型 4冊（内服①P167、 内服②P146、注射・外 用P63、索引P74）	枠組み形式 A5版 縦型 ①本文P214 ②索引 P23	枠組み形式 A5版 縦型 ①本文P276 ②索引 P23	枠組み形式 A5版 縦型 ①本文P287 ②索引 P24 ③表P32
印刷原版と印刷方法	手書き→騰写版印刷→ 製本（印刷業者）	ワープロによる切り張り→ 版下→写真印刷（印刷業者 ）	完全ワープロ編集→版下→ 写真印刷（印刷業者）	パソコンによる編集→版下 →写真印刷（印刷業者）
DB作成までの時間			約 4カ月	約 3カ月
編集作業時間	約10カ月	約 5カ月	約 1カ月	約1日
索引	手作業	手作業	ワードプロセッサ機能の 利用	自動化
ページ付け	手作業	手作業	自動化	自動化
医薬品集としての利用性	×	△	△	○
他方面への情報提供	×	×	△	○
追補版の作成	×	×	△	○
医薬品集発行コスト	約3万円（100部）	約10万円（100部）	約16万円（100部）	約18万円（100部）

図 8. 添付文書データベース化の概要

品類、類々、細品、天下、家

STEVENS.TBL

《Stevens-Johnson》

[illegible]

藥效:	商品名	×力一	組成	院內藥效	・Stev. ve :
・	・	・	・	・	・

メーカ一：組成：院内薬効：Stev:Lvel:

Stev:Lvel:

中小病院でも容易に医薬品集を作成することが可能となった。編集作業が大幅に合理化でき、また内容もかなり満足のゆくものとなった。

一方、添付文書をデータベース化することで、多方面で利用することができるようになり、600点業務をサポートする上でも大きな利益を得ることができた。

今後は、この最新のデータをフロッピーの形でパソコンを利用している医師等に提供すること

で、より幅広い利用をめざしている。

謝辞 今回の試みに対しご協力いただいた昭和薬品株式会社 SUNET 協議会東海・北陸支部 村上静氏らに深く感謝いたします。

引用文献

- 1) 名徳倫明, JJSH, 25, 337-342 (1989).
- 2) 古川裕之, 病院薬学, 17, 470-475 (1991).